

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

香簗小	学校	児童数	30
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.73	15.40	31.40	47.80	49.40	9.81	144.53	16.93	50.13
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.20	21.40	38.20	48.36	52.73	9.10	163.07	20.07	63.86
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

令和6年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析から、全国平均と比べると、本校児童は男子は反復横跳び、20mシャトルランの2種目、女子はすべての種目（8種目）で上回った。さらに、女子での総合評価A、Bの割合が85.8%、Cは14.3%、D、Eの割合が0%と体力測定値が高いことがわかる。また、男子においても総合評価Aの割合が13.3%と、全国と比べても3%高い水準にある。しかし、Bの割合が6.7%と全国に比べ15.1%少なく、逆にDの割合が33.3%と1.3%多いことから、運動能力の二極化がはっきりしている。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男子は20%、女子は13.4%で、全国平均と比べて男子は11.2%多く、女子は2.6%少ないことがわかる。このことから、普段より体育授業以外の運動をする時間を確保し継続して運動する習慣を養うことが体力向上につながる要因である。児童質問紙より「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問で肯定的な意見が男子では93.3%、女子では100%と高い割合であった。さらに、「体育の授業では進んで参加をしていますか」の質問で、肯定的な意見が男子は100%、女子は93.4%と積極的に体育の授業に参加していることが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育授業時には、準備体操にラジオ体操を取り入れ、体づくりの基礎を年間を通して行い、家庭でも行うように声かけをした。また、体力を高めるために、ラダートレーニングやミニハードルを使い、敏しょう性を高める運動を行った。さらに、トップアスリートなどの招聘を通して、体力向上と運動意識を高める取り組みを実施した。学校行事においては、集会活動で、かけ足集会を行ったり、なわとび集会を行ったり、学校全体で実施することで活動内容や運動時間の確保を目指してきた。それらの活動を実施する際には、かけ足カードやなわとびカードを活用し、休み時間も進んで体力づくりに取り組む児童が増えている。体育授業ごとに今後も児童が自ら体を動かしたり、運動の楽しさを感じたりできるような継続的な行事や取り組みを実施していく。